

概 要

1 報告の目的

本報告は、平成 11 年度から調査の簡素化・合理化の観点から「地域保健事業報告」と「老人保健事業報告」を統合し、新たに「地域保健・老人保健事業報告」として発足したものであり、地域住民の健康の保持及び増進を目的とした地域の特性に応じた保健施策の展開等を実施主体ごとに把握することにより、地域保健対策の効率的・効果的な推進のための基礎資料を得ることを目的とする。

2 報告の対象

保健所及び市町村を対象とした。

3 報告の種類

年度報をそれぞれの様式により、年度中又は年度末現在の状況について報告する。

4 主な報告事項

- (1) 母子保健等サービスの実施状況
- (2) 保健所の連絡調整等の実施状況
- (3) 職員の設置状況及び保健所職員の市町村への援助状況
- (4) 老人保健事業の実施状況

5 用語の解説

老人保健事業報告

(1) 開催回数・実施回数

開催した場所（会場）及び実施した施設（場所）ごとに、1日を1単位として開催及び実施した回数である。

注）開催回数及び実施回数は、昭和 6 1 年度までは4時間以内を1回とし、4時間を超える場合は、4時間までを増すごとに1回を加える方法で算出されていたものである。

(2) 従事者延人員

常勤・非常勤・臨時雇い上げ・委託等を問わず1日を1人として従事した者の延人員である。